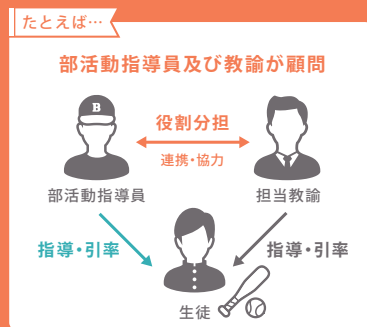


みんなの
青春だっ!

ふくい部の活動のこれから。 「部活動指導員」って なんですか？

近年、中学校の部活動について、いろんなメディアで取り上げられるようになってきました。部活動が子どもたちの貴重な成長の場である一方、練習時間や方法などが過熱しがちな一面もあり、教員の長時間労働の一因ともされています。文科省は2017年4月から外部人材を学校に置けるよう省令を改正しました。部活動指導員による指導は、生徒たちにとって「技術の向上・生徒の能力に応じた適切な練習・事故・けがの未然防止」が図れるとされ、先生たちにとっても「教材研究や生徒との面談の時間確保や顧問の負担軽減」が図れるとされています。

現在、福井県内の中学校でも、教員OBによる「部活動指導員」がそれぞれの専門知識や経験を活かしながら25校で活躍中です。単独での指導や、大会等への引率もできるため、教員の長時間労働の是正の面からも注目されています。今後、県内すべての中学校への配置が期待されます。



部活動についての 県教委と県P連の取り組み

「土日のいずれか1日の部活動休止日に加え、新たに平日週1日の部活休業日の設定を進めていきます」。適切な休養を伴わない行き過ぎた活動は、教員や子どもにとって、心身に無理が生じることとなります。教員の負担軽減だけでなく、子どもの健康のことを考えても、休業日が必要だと考えます。